大阪公立大学
Osaka Metropolitan University
学術情報リポジトリ

片倉穣教授略歴

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2010-05-10 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10466/8858

片倉穣教授略歴

年月	記事
一九三四年　三月二一日	大阪府吹田市で八人きょうだいの五番目として生まれる。父の職業の関係上、たえず自宅に出入りする在日朝鮮人の人々をとおして隣国と日本の問題を考える下地が形成されたと思う。
一九五二年　三月	大阪府立春日丘高等学校卒業。高校進学の際、小学区制（高校三原則の一）の実施により同級生の間で「寄留」などによる越境入学が行なわれたが、敢然と（？）指定高校に入学した。おかげで、強くないサッカー部でクラブ活動を楽しむことができ、まずまずの高校生活を送ることができた。
一九五二年　四月	神戸大学文理学部文科（史学科）入学。在学中、文理学部の分離改組により文学部に所属することになる。文学部時代には、学問の自由、大学・学部の自治のたいせつさを学んだ。とりわけ、学生自治の一環として行なわれた「無監督試験制」に共感を覚えた。
一九五六年　三月	神戸大学文学部史学科（東洋史学専攻）卒業。卒業論文は「王安石の交趾経略」。この頃から、すでにベトナム民族の抵抗精神に学問的関心を寄せていた。大学院に進みたかったが、経済的にとても無理。指導教授の名刺をもって教育委員会通いをしたが、時すでに遅かった。各地の職業安定所や新聞の求人欄を頼りに「就職活動」をしたけれども、定職には就けなかった。

一九五六年　一一月　兵庫県立城北高等学校（定時制課程）専任講師。捨てる神あれば拾う神あり、のことわざどおり、十月末に姫路の高校長から電報が飛び込んできた。「定時制」の意義もよく分からないまま、勇躍赴任。一三年間の定時制高校教員の生活がこの「勤評闘争」の拠点校で始まった。

一九五九年　九月　兵庫県立神戸工業高等学校（定時制課程）教諭。高校長・同僚や生徒たちの支援と理解により、在職のまま大学院進学を決意する。

一九六〇年　四月　大阪大学大学院文学研究科修士課程（東洋史学専攻）入学。勤務と勉学の両立は容易ではなかった。研究・教育・組合活動、それに教職員スポーツ活動（サッカー、ソフトボール）など、とにかく多忙をきわめた。胃腸薬を常用する日々が続き、ときには学問研究の意義を見失い、退学を考えたこともあった。

一九六四年　三月　大阪大学大学院文学研究科修士課程（東洋史学専攻）修了。修士論文は「曹魏政権の成立過程」。

一九六四年　四月　大阪大学大学院文学研究科博士課程（東洋史学専攻）進学。

一九六四年　十月　大阪府立桜塚高等学校（定時制課程）教諭。

一九六七年　三月　大阪大学大学院文学研究科博士課程（東洋史学専攻）単位取得満期退学。

一九六七年　四月　大阪大学大学院文学研究科研修生（一九七〇年三月まで）。

一九七〇年　四月　武庫川女子大学・武庫川女子短期大学専任講師。大学への就職は、自分にとって一大決心を要した。担任クラスの生徒たちに激励され、自分なりにこの転機を理由づけ踏み切った。

一九七三年　四月	武庫川女子大学・武庫川女子短期大学助教授。
一九七六年　四月	武庫川女子大学・武庫川女子短期大学教授。この頃、教務部で教育実習を担当。中・小学校、幼稚園めぐりのなかで、教員養成のあり方などを研究した。ともに切磋琢磨しあった先輩・仲間の友情を忘れることはない。
一九七七年　四月	金沢大学教養部助教授。少しまとまった研究ができれば、ベトナムなど東南アジアをとおして日本の再認識ができれば、ということで未知の金沢に移住する。
一九七八年　七月	金沢大学教養部教授。
一九八二年　四月	金沢大学大学院教育学研究科教授。
一九八三年　四月	文学博士（大阪大学、学位記六〇七六号、「ベトナム前近代史の基礎的研究」）。自分のベトナム史研究がアジア史および専門外の研究者の批判にたえられるものか否かを知りたくて、あえて学位論文を提出し、審査を受けた。
一九八五年　四月	金沢大学評議員（一九八九年三月まで、二期）。金沢でも、さまざまな人々との出会いがあり、大学人あるいは市民として貴重な体験を積むことができた。研究の傍ら、北陸の各地を跋渉して地域の伝統と文化に触れ、ゼミの受講生（在日朝鮮人学生）の国体出場問題をきっかけとして結成された市民の会に参加し、金沢における朝鮮通信使の文化遺産の発掘に努めた。教養部では、全国の大学でも珍しい単一教官制による部会運営を体験し、評議会では、教養部の移転反対、外国人教員の無任期採用、祝祭日における日の丸の掲揚、臨時定員増等々の諸問題に取り組み、それなりに充実した一三年間であった。

一九九〇年　四月	大阪府立大学総合科学部教授、同大学大学院総合科学研究科教授。金沢に骨を埋めるつもりだったが、大学移転問題が具体的な実施の段階に入り、大阪在住の親のことも心配になっていた頃、縁あって本学に着任することになった。これで、私学・国立・公立の三種類の大学を経験したことになる。
一九九四年　四月	大阪府立大学大学院人間文化学研究科長。博士課程の大学院設置にきわめて慎重な態度をとっていた自分が本学で大学院の仕事を手伝うはめに陥ったのは、なにかの皮肉としかいいようがない。
一九九七年　三月	停年退職。

著作目録

一九六三年　三月	守屋美都雄「E・バラーシュ著・隋書刑法志」における仏語の日本語訳（共訳）
一九六五年一一月	漢唐間における良家の一解釈
一九六七年　五月	漢代の奴婢無姓に対する疑問 ―― 尾形勇氏の所論に寄せて
七月	ヴェトナム李朝の貿易に関する一考察
一九六八年　一月	日比野丈夫編『東洋の歴史三秦漢帝国』（書評）

『法制史研究』一三	
『史林』四八巻六号	
『歴史学研究』三二四号	
『歴史教育』一五巻七号	
『歴史評論』二〇九号	

一九六八年 九月	漢代の士伍	『東方学』三六輯
一九六九年 七月	曹魏政権の成立過程――とくに曹操集団と黄巾について	『歴史教育』一七巻三号
一九七〇年 一月	ベトナム前近代の奴婢――身分としての奴婢をめぐる基礎的考察	『歴史学研究』三五六号
六月	中国支配下のベトナム	『大学ゼミナール東洋史』法律文化社
六月	中国支配下のベトナム	『大学ゼミナール東洋史・史料解説集』法律文化社
一九七一年 三月	内田先生の特殊講義とわたくし	『内田吟風先生著作目録附記念文集』
一九七二年 一月	中国支配下のベトナム（一）――中国諸王朝の収奪に関する試論的考察	『歴史学研究』三八〇号
二月	中国支配下のベトナム（二）――中国諸王朝の収奪に関する試論的考察	『歴史学研究』三八一号
七月	ベトナム・中国の初期外交関係に関する一問題――交趾郡王・南平王・安南国王等の称号をめぐって	『東方学』四四輯
九月	ベトナム諸王朝と姓（戸ｈｏ）について	『史録（鹿児島大学）』五号
一〇月	ベトナムの養子について――一八世紀以前における養子の実態と養子政策を中心に	『武庫川女子大学紀要（教育編）』一九集

一九七三年　一月	ベトナム王権の性格について――李朝の場合	『歴史科学』四六号
三月	朝鮮民話から	『武庫川教育』五号
八月	日本におけるベトナム前近代史研究の歴史	『歴史科学』四八・四九合併号
八月	ベトナム前近代史研究のための文献紹介	『歴史科学』四八・四九合併号
一一月	ベトナム李朝刑法考――主として刑罰体系について	『史学雑誌』八二編一一号
一一月	武庫川女子大学紀要・開学二十五周年記念号（教育編）（共編）	大和出版印刷株式会社
一九七五年　三月	ベトナムと邪馬台国	『神戸大学史学研究会・会誌』四号
四月	『歴史評論』に期待する	『歴史評論』三〇〇号
四月	『東アジア史入門』（共著）（西南中国、ヴェトナム、ヴェトナム戦争）	法律文化社
九月	陳朝刑法雑考	『史学雑誌』八四編九号
一九七七年　二月	ベトナム前近代の女性――原始・古代編	『武庫川女子大学紀要（教育学科編）』二四集
四月	漢文	関西文理学院

一九七七年	四月	ベトナムの歴史と東アジア——前近代篇	杉山書店
	一一月	ベトナム・上——自然・歴史・文化（共著）（ベトナム概史）	水曜社
一九七八年	三月	七の思い出	『金沢大学法文学部東洋史研究室・研究室誌』四号
	七月	ベトナム李朝における上木馬の経緯について	『東方学』五六輯
	七月	読書会のすすめ	『書評アカンサス』（金沢大学生活協同組合組織部）九号
	八月	ベトナムの馬をめぐる二、三の考察——李・陳・黎三王朝を中心に	『内田吟風博士頌寿記念東洋史論集』同朋舎
一九七九年	四月	私の越南史研究	『金沢大学教養部報』一三号
	一一月	馮興の反乱に関する覚書——史料の紹介を中心に	『歴史評論』三五五号
一九八〇年	三月	崔致遠と越南	『金沢大学法文学部東洋史研究室・研究室誌』六号
一九八一年	四月	中越関係を中心とする東アジア——五世紀と一二世紀について	『東アジアにおける国際秩序の形成と展開』、岩見宏代表・文部省科学研究費補助金一般研究（B）研究成果報告書

一九八一年　七月	罰銭小考―国朝刑律の一考察	『東方学』六二輯
一九八二年一一月	日本人のアジア認識・資料編―その歴史と現状	金沢大学生活協同組合、ケント社
一一月	国朝刑律の徒刑に関する考察	『南方文化』九輯、文部省科学研究費補助金一般研究（D）
一九八三年　三月	国朝刑律（黎朝刑律）について	『金沢大学教養部論集・人文科学篇』二〇
三月	山本達郎「フランス支配時代における南部越南の土地契約文書」『市古教授退官記念論叢・論集近代中国研究』所収（書評）	『法制史研究』三二
三月	知的に充実した青春を	『私たちの生協　一九八三』（金沢大学生活協同組合）二三号
三月	開放講座を担当して	『金沢大学大学教育開放センター―紀要』三号
四月	ベトナムの漢籍	『金沢大学附属図書館報・こだま』七二号
六月	大学教育開放センターへの要望	『地域と大学』（金沢大学）五七号
一二月	アジア留学生問題を考える	『地域と大学』六三号

一九八四年　三月	万葉集のなかの能登と朝鮮	『金沢大学文学部東洋史研究室・研究室誌』一〇号
三月	国朝刑律の賠償金――侮辱と傷害に対する賠償金	『金沢大学教養部論集・人文科学篇』二一
一九八四年　四月	前近代越南の茶	『金沢大学教養部報』一八号
一〇月	国朝刑律の賠償金――生命の侵害に対する賠償金	『金沢大学教養部論集・人文科学篇』二二―一
一二月	ベトナム（前近代）	『アジア歴史研究入門』五、同朋舎
一九八五年　二月	歴史からみたアジアと日本	『昭和五九年度アジアセミナー――・シンポジウム事業報告書』（金沢市教育委員会）
四月	安南、安南志略、律令格式（ヴェトナム）、李朝、黎朝（事典執筆）	『世界歴史大事典』教育出版センター
五月	「江戸時代の朝鮮通信使」の上映について	『寒雷』（金沢大学教職員組合）三一号
五月	私達の中の東南アジア	『石川高専図書館報・灯火』三八号
八月	国朝刑律の賠償金――財産の侵害に対する賠償金	『金沢大学教養部論集・人文科学篇』

一九八六年　三月　山本達郎「国朝刑律にみえる貶爵」『瀧川政次郎博士米寿記念論集・律令制の諸問題』所収、同「国朝刑律の版本と写本」『東南アジア――歴史と文化』一三所収（書評）

一九八六年　三月　中国支配下のベトナム法試論

四月　増補日本人のアジア認識・資料編――その歴史と現状

一一月　最近の問題発言をめぐって

一二月　最近の問題発言をめぐって

一九八七年　二月　ベトナム前近代法の基礎的研究――『国朝刑律』とその周辺

四月　黒本稼堂筆『朝鮮李東郭書観文堂額由来記』（共著）

六月　『国朝刑律』の賭博律をめぐって

九月　黎代の監獄

二三―二

『法制史研究』三五

『金沢大学教養部論集・人文科学篇』二三―二

金沢大学生活協同組合、ケント社

『教組いしかわ』八五一号

『教組いしかわ』八五二号

風間書房、学位論文、文部省科学研究費補助金研究成果公開促進費

『金沢大学附属図書館報・こだま』八五

『東方学会創立四十周年記念東方学論集』東方学会

『東洋法史の探究――島田正郎博士頌寿記念論集』汲古書院、文部省科学研

一九八八年　一月	伊藤幸野著『正徳和韓唱酬録』	究費補助金一般研究（C）
三月	ベトナム前近代の虎患について	『金沢大学附属図書館報・こだま』八八号
一九八八年　三月	ベトナム黎法の研究	『金沢大学教養部論集・人文科学篇』二五－二
四月	伊藤幸野著『正徳和韓唱酬録』	田中昭文堂、文部省科学研究費補助金一般研究（C）研究成果報告書
一九八九年　四月	山田信夫先生と私	『金沢大学附属図書館報・こだま』八九号
一九九〇年　一月	大越史略索引	『人と人　山田信夫先生追悼文集』（山田信夫教授追悼紀念事業会）
四月	思い出の記	溪水社、文部省科学研究費補助金研究成果公開促進費
五月	黎代の市――その歴史と法	『金沢大学教養部報』二四号
一〇月	暮らしの中のアジア――あなたはアジアが見えますか	『布目潮渢博士古稀記念論集東アジアの法と社会』汲古書院
		『平成二年度大阪府立大学府民講座・暮らしを考える』

一九九一年	三月	東南アジア渡航朝鮮人に関する覚書――豊臣秀吉の朝鮮侵略により強制連行された朝鮮人と東南アジア	『日本近世初期における渡来朝鮮人の研究』、鶴園裕代表・文部省科学研究費補助金一般研究（B）研究成果報告書
	三月	加賀藩における渡来朝鮮人	『日本近世初期における渡来朝鮮人の研究』（同　書）
一九九一年	九月	阿倍仲麻呂とベトナム	『平成三年度大阪府立大学府民講座』
	一一月	アジア史研究随想――アジアの中の日本	一心社
一九九二年	一月	日本人の中の外国――心の「国際化」を求めて	『商工振興』五〇三号
	九月	モンゴルの膨張とアジアの抵抗	『アジアのなかの日本史』Ⅳ「地域と民族」東京大学出版会
一九九三年	三月	ベトナム李朝の龍崇拝――『大越史略』をとおして	『歴史研究』（大阪府立大学歴史研究会）三一号
	五月	古代外国人と接触した庶民――古代貴族の日記から	『日本歴史』五四〇号
	七月	万葉びとのなかの外国	『東アジアの古代文化』七六号
	一二月	日本人の中のアジア――交流から共生へ	『公立大学協会図書館協議会研修会報

一九九四年　三月	正徳和韓唱酬録校注	告書・一九九三』
一九九五年　二月	ヴェトナム　民族意識の形成期	『歴史研究』三二号
一九九六年　二月	日本アジア関係史研究文献目録（単行書篇）	『エンサイクロペディア大百科』丸善
三月	日本人のアジア観に関する歴史的研究	多賀出版、科学研究費補助金研究成果公開促進費
一九九七年　三月	ベトナム前近代法における民族意識の研究――『国朝刑律』を中心に	宏和印刷、文部省科学研究費補助金一般研究（C）研究成果報告書 株式会社トープ　文部省科学研究費補助金基盤研究（C）（二）研究成果報告書